

鍵預かりで一人暮らし高齢者の安心を

島田典朗議員

問 一人暮らし高齢者の居宅の鍵を預かり、異常時の安否確認を行っては、鍵の保管場所や方法など、他市の状況等を検証し研究していきたい。

答 鍵の保管場所や方法など、他市の状況等を検証し研究していきたい。

問 高齢者の実態把握に関し、今後の個人情報取り扱い扱いは。

答 情報管理を一元化して閲覧、利用ができるようなシステム作りが必要。一括した管理を考えている。

生活困窮者自立支援制度

山田敏夫議員

問 来年度から始まる、生活保護に至る前段階の生活困窮者自立支援制度の取り組みについては。

答 心理面の専門家やケースワーカー経験者などを配置し、民間のノウハウも活用して福祉総合相談支援体制を構築することを検討していきたい。

感染症へ万全の対策を

堀口修一議員

問 様々な感染症への不安が高まっている。公園など保健衛生の視点で総点検を。また、危機管理として対応をしっかりとコミュニケーションしていくべきでは。

答 公園など蚊の発生しやすい所においては、定期的な清掃、樹木の剪定、除草等を行っている。さらに保健衛生の視点で、適正な管理に努めている。また、いざという時に、危機管理マニュアルが機能するように、しっかりとコミュニケーションしていく。

複合的な地域福祉の取り組みを

堀口修一議員

問 他市では、介護保険施設と障害児施設が併設され、効果をあげている。今後の地域福祉のあり方として、複合的な取り組みを進めるべきでは。

答 介護保険施設と障害児施設が併設され、効果をあげている。今後の地域福祉のあり方として、複合的な取り組みを進めるべきでは。

このような取り組みは、双方にとって有意義

小林憲人議員

問 今後、在宅医療・介護の連携や推進を図っていくことになっているが、各医療機関や各介護施設の機能などの把握が難しいといった課題がある。医療と介護の連携の会や地域ケア会議の中で取り上げていく考えは。

答 市全体での取り組みとして広げていく必要があると考えている。

特別養護老人ホーム入所対象は

伊藤初美議員

問 介護保険制度の改正で新規入所が要介護3以上のとなる。新たな施設整備が必要ではないか。

答 要介護1・2であっても認知症などを抱え、やむを得ない事情があれば、新規入所を認める場合がある。施設整備の考えは今はない。

自殺対策

谷 新一議員

問 自殺対策として家庭や地域、学校、医療機関等との連携は。

答 市では、職員を対象に自殺のサインに気づき、声かけや話を聞いて

障がい児も学校で過ごしやすい

鈴木啓太郎議員

問 障害者差別解消法に関連して、学校教育の現場ではどのような取り組みをしているのか。

答 障がいの有無にかかわらず、わかりやすい授業を行い、学習への興味・関心を高めるように研究している。黒板周囲の過度な掲示を避け、授業の目当てや予定を掲示して視覚化したり、ICT機器を使用するなどの方法が効果をあげている。

発達障害支援の現状

鈴木啓太郎議員

問 (仮称) 児童発達支援センターの4月開設にあたり、市民のニーズをどのように捉えているのか。

答 乳幼児健診時に経過観察が必要なお子さんは今年度は846人、うち33人が他市の療育支援事業を利用した。今後は市内での早期発見、対応が可能となり、関係機関との連携もとりやすく、継続した支援も行えるようになるかと考えている。

複合的障がいに対するケア体制

足立志津子議員

問 福祉・健康医療・市民生活など、複数の部署が関係するケースに対応できるようなケア体制が必要。

答 新設予定の福祉総合相談窓口から各課が横断的に対応できるように検討中。

住みやすいまちへ

少子化対策、空き家対策に進展を

島田典朗議員

問 特定優良賃貸住宅制度を活用し、空き家を子育て世代への支援に用いては。

答 国土交通省の平成27年度予算概算要求に含まれているので、今後の国の動向に注視していきたい。

放置自転車の解消に向けて

仙田 定議員

問 上福岡駅西口広場の



駅前名店街での大衆市

点字ブロック上の放置自転車の解消を。撤去作業の回数を増やして効果を上げているが、撤去して空いたスペースに、さらに駐車さ

る。撤去して空いたスペースに、さらに駐車さ

仙田 定議員

問 商店街活性化に向けた新たな取り組みを。

答 活性化事業のキーパーソンとなる人材育成を図れるような新たな事業展開などを、商工会や商店会連合会と連携して研究していきたい。

活性化に向けた新たな取り組みを。

発達障害支援の現状

鈴木啓太郎議員

問 (仮称) 児童発達支援センターの4月開設にあたり、市民のニーズをどのように捉えているのか。

答 乳幼児健診時に経過観察が必要なお子さんは今年度は846人、うち33人が他市の療育支援事業を利用した。今後は市内での早期発見、対応が可能となり、関係機関との連携もとりやすく、継続した支援も行えるようになるかと考えている。

複合的障がいに対するケア体制

足立志津子議員

問 福祉・健康医療・市民生活など、複数の部署が関係するケースに対応できるようなケア体制が必要。

答 新設予定の福祉総合相談窓口から各課が横断的に対応できるように検討中。

商店街の街路灯のLED化

山田敏夫議員

問 商店街の街路灯のLED化については。

答 国の補助金を使って、市内15の商店会のうち10の商店会がLED化の予定である。来年度も国の補助金制度の動向を見ながら、すべての商店街の街路灯を整備していきたい。

のら猫対策

民部佳代議員

問 のら猫の不妊・去勢手術に助成を。

答 効果の測定が難しく、財源的にも厳しい。



ふるさとハローワークの創設を

伊藤初美議員

問 市内にふるさとハローワークの早期設置が待たれているが。

答 平成26年11月に3度目の要望書を提出し、4月下旬に結果がわかる。継続して要望していく。

財源の有効活用を

塚越洋一議員

問 来年度予算編成については、合併特例措置の終了にも配慮しつつ、内部に留保している財源の活用を図り、公立保育所の廃止などは撤回し、待機児童が出たりすることのないように市としての責任を持って、未来を切り開くべく子育て支援施策を積極的に展開すべき。

答 地方交付税の特例は来年度で終了し、その後5年間で段階的に本来の額に戻る。持続可能な財政運営をしていくために、各種基金の計画的な積み立てと効果的な運用

図書館の管理運営

足立志津子議員

問 指定管理者への仕様書には、図書館長に司書資格を求めず、個人情報流出の際の危機管理対応が明記されていないが。

答 図書館長には民間活力を活かしてもらうため、経験・司書資格を求めない。司書をまとめる責任者を置いて、図書館法に基づいた図書館業務を行い、個人情報保護法などを遵守してもらう。

基金の設置

山田敏夫議員

問 ふじみ野市運動公園の整備と施設老朽化対策のための基金の設置については。

答 プールの解体や公園の整備には、地盤調査などが必要である。今後

※特定優良賃貸住宅制度 民間の土地所有者が一定基準以上の優良な賃貸住宅を建設し、中堅所得者に供給するもの。